



学校だより

清流

立山町立立山中央小学校

令和4年 11月

全校で心の教育を

本校は、平成10年に、子供の活躍の場を広げるという目的で、それまで赤・白・青・黄の4団だった色団を、六つに増やしました。そして、異学年の交流を盛んにするために、1～6年生までで編成する、「なかよし班（縦割り班）」を結成し、それ以降、様々な場面でなかよし班での活動を取り入れています。4月に結団式を行い、3月の解団式を行うまでの間、縦割りで清掃を行ったり、なかよし班で集会を楽しんだりするなど、縦割り活動は、今では本校の教育活動の核となっています。昨年度から、この「なかよし班」を活用して「全校道徳」に取り組んでいます。全校児童が同じ内容について、同じ時間に考えるということを通し、本校の重点目標に掲げている心の教育の充実を目指して取り組んでいます。今年度は、これまでに3回の全校道徳を行いました。11月17日（木）には、NIE（新聞を教育に活用する活動）研究発表会において、他校の先生方に本校の全校道徳を見ていただく機会を頂きました。そのときの、子供たちの様子を紹介します。



この「なかよし班」を活用して「全校道徳」に取り組んでいます。全校児童が同じ内容について、同じ時間に考えるということを通し、本校の重点目標に掲げている心の教育の充実を目指して取り組んでいます。今年度は、これまでに3回の全校道徳を行いました。11月17日（木）には、NIE（新聞を教育に活用する活動）研究発表会において、他校の先生方に本校の全校道徳を見ていただく機会を頂きました。そのときの、子供たちの様子を紹介します。

<自分の挨拶を振り返るきっかけに・・・>

この日は、新聞投稿欄に投稿された挨拶に関する記事を教材として取り上げました。畑仕事をしていた際に下校中の中学生が礼儀正しく挨拶をしてくれ、嬉しい気持ちになったということが書かれている記事です。この記事を読んだ子供たちは、なかよし班で「挨拶されるとうれしい気持ちになるよね」「挨拶をした中学生もすっきりしていると思うよ」と、挨拶の意義について確認したり、「ぼくも毎朝、挨拶しているよ」「自分だったら挨拶できないかもしれないな」と、自分の挨拶を振り返ったりしました。



<全校の前でも堂々と・・・>

全体での話合いの場面に移った際に、低学年の児童がたくさん挙手をし、全校の前で自分の意見を堂々と発言しました。その姿に、他校の先生方は驚いておられました。これまでの縦割り活動で、6年生を中心に仲を深め、話しやすい雰囲気築き上げてきた成果であると、縦割り活動の意義を実感しました。

<互いに刺激をもらって・・・>

高学年は、低学年の「わたしだったら恥ずかしくがらずに挨拶できるよ」等の発言を受け、「自分たちも、進んで挨拶しなければ・・・」と、挨拶に対する想いを新たにしました。また、縦割り班での話合いが円滑に進むように、進行役を務めてくれたり、友達の話にしっかりと耳を傾けてくれたりする高学年の姿を見て、低・中学年の子供たちは、憧れの念を抱いていました。互いに刺激をし合い、考えを深めたり、気持ちを高めたりするよい機会となったようです。



11月の中央っ子の活動の様子から

宿泊学習に行ってきました（4年生）10/31、11/1



中央っ子見守り隊の皆様が表彰されました。＜地域安全功労団体表彰＞ 11/2
三地区の公民館に賞状のレプリカと見守り隊の皆様への感謝の色紙を運営委員が届けました。



文化芸術巡回公演で、バレエを鑑賞しました。 11/4



この他にも、子供たちの学習活動の様子を学校ホームページに掲載しています。

【 ホームページアドレス <https://tateyama-chuo-e.edumap.jp/> 】

